

7 章 消波工

7.1 消波工（捨石均し工）

7.2 消波工（ブロック製作・据付工）

7章 消波工

7.1 消波工(捨石均し工)

1. 適用

海岸工事における離岸堤、消波堤、突堤等の海上作業における捨石均し工に適用する。

2. 数量算出項目

捨石投入の体積、捨石均しの面積を算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目一覧表

項 目	3次元 モデル	属 性 情 報			
		規 格	単 位	数 量	備 考
捨石投入	土構造	○	m ³		
捨石均し	B	○	m ²		

3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 捨石投入の規格区分

捨石に使用する材料を砂利及び岩石に区分して算出する。

(3) 捨石均しの規格区分

捨石均しの規格の区分は以下のとおりとする。

捨石均し ——— 本均し (精度±5 cm)
 ——— 荒均し (精度±30 cm)
 ——— 荒均し (精度±50 cm)
 ——— 被覆均し(精度±30 cm)
 ——— 被覆均し(精度±50 cm)

7.2 消波工(ブロック製作・据付工)

1. 適用

海岸工事における離岸堤、消波堤、突堤等の海上作業におけるブロック 50.0 t 以下（実質量とする）製作・据付工であり作業場所（ブロック積込場所からブロック据付場所までの間）15km 以下に適用する。

2. 数量算出項目

ブロックの個数を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、作業区分、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目 \ 区 分	3次元 モデル	属 性 情 報				
		作業区分	規 格	単位	数 量	備 考
ブロック	B	○	○	個		注) 1

3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

注) 1. 型枠の種類(プラスチック・鋼製等)について、備考欄に明記する。

2. ブロックの積込場所から据付場所までの片道運搬距離(km)についても算出する。

(2) 作業区分

作業区分は、以下のとおりとする。

ブロック据付作業区分

- 陸上設置
- 水中設置

注) 陸上設置とは、ブロックを平均干潮面より上に設置する場合をいい、平均干潮面が設定されていないところでは、平均水面と朔望平均干潮面との $1/2$ とする。

(3) ブロックの規格区分

ブロックの規格区分は、以下のとおりとする。

ブロック製作

ブロック 1 個当りの実質量とする。

ブロック据付

ブロック 1 個当りの実質量

4.	5 t 以下		
4.	5 t を超え	7.	5 t 以下
7.	5 t を超え	12.	5 t 以下
12.	5 t を超え	22.	0 t 以下
22.	0 t を超え	31.	0 t 以下
31.	0 t を超え	37.	5 t 以下
37.	5 t を超え	50.	0 t 以下

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) ブロック1個当りコンクリート設計量 ($\text{m}^3/\text{個}$)、コンクリート規格、1個当り型枠面積 ($\text{m}^2/\text{個}$) 及び必要に応じて鉄筋（連結用フックを含む）量 ($\text{t}/\text{個}$) を径毎に算出する。